

2022年度 ASAFAS 国内エクスポローラープログラム 第一次募集要項

臨地教育・国際連携支援室

京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科附属次世代型アジア・アフリカ教育研究センターに設置された臨地教育・国際連携支援室（以下、支援室）では、新型コロナウイルスの流行によって海外渡航が困難となっていることに鑑み、国内での移動を伴う調査や資料収集等の一部を支援する「国内エクスポローラープログラム」を実施しています。なお、いったん採択された場合でも、新型コロナウイルス感染症の流行状況や本学の活動方針によって採択を取り消すことがありますので予め了承下さい。

1. 概要

- (1) 主に予備論文提出前の学生が国内でフィールドワークや資料収集、技術習得や社会経験としてのインターンシップなどを実施することを支援するプログラムです。博士予備論文提出後の学生や3年次編入生も応募可能ですが、応募多数の場合、採択の優先度が低くなります。
- (2) 出張期間など一定の条件を満たす場合、「アジア臨地演習」、「アフリカ臨地演習」もしくは「グローバル臨地演習」科目の単位認定の対象となります。単位認定の基準については指導教員に確認して下さい。

2. 応募資格および採択の条件

- (1) 本研究科に在籍する2回生以上の大学院生

休学中の学生、日本学術振興会（学振）特別研究員および京都大学大学院教育支援機構プログラムから奨学金を受けている学生は申請できません。ただし、休学中の学生で、派遣時まで復学する予定の者は、申請を認める場合があるので、申請前に支援室にその旨を相談して下さい。学振以外の研究助成や奨学金を受給している院生については応募を認めません。

- (2) 学位研究と関連した調査・資料収集等であること

申請者の学位研究との関連がきちんと説明されていない研究計画は採択しません。なお、研究科正規科目として単位認定の対象となる国内調査を優先的に採択します。単位認定の

対象となるのは、合計して5日以上の調査日程を含む国内臨地研究です。

(3) 調査の準備状況を説明できること

調査日程や受入機関が確定していなくても応募できますが、準備状況が良好と思われる申請を優先的に採択します。

(4) 新型コロナウイルス感染への対策が考慮されていること

対面での調査を予定している場合、密集を避けるなど新型コロナウイルスへの適切な感染対策を講じることを求めます。なお、京都や調査対象地において緊急事態宣言が発出中の場合には、原則として調査をおこなうことはできません。この他の場合でも、地域の流行動向や本学の活動方針その他の事情を勘案して採択を見送ったり、採択を取り消すことがあります。

参考：京都大学の新型コロナウイルス感染症への対応

<https://www.kyoto-u.ac.jp/ja/about/foundation/coronavirus/>

3. 支援内容

(1) 対象となる出張

国内での移動を伴う調査、資料収集、インターンシップで、**2022年6月1日以降7月31日までに出発し、2023年3月20日までに帰学するもの**が対象となります。研究目的が同じであれば、複数回にわたる出張であっても一つの研究計画として申請することもできます。

(2) 対象となる経費

滞在費および交通費の一部を支給します。

4. 申請と採択通知

4月27日（水）正午（日本時間）厳守 →5月2日に採否を通知

海外エクスプローラープログラムと異なり Web エントリーの必要はありません。 記入済みの申請書を (shien-app@asafas.kyoto-u.ac.jp) まで送ってください。

申請書ダウンロード：

https://jisedai.asafas.kyoto-u.ac.jp/download/2022_%e5%9b%bd%e5%86%85exp%e8%a8%88%e7%94%bb%e6%9b%b8/

- **メールのタイトルは必ず、「Research Proposal for Domestic Explorer Program (Your Name)」としてください。**

例：Research Proposal for Domestic Explorer Program (Sarina.Koga)

- **必ず大学のオフィシャルアドレスから送付してください（大学のアドレスでない場合は受け取れない場合があります）。**

- **添付の計画書には、Research_Proposal_(your name)とタイトルを付けてください。**

例：Reserch_Proposal_(Sarina.Koga)

申請書は選考委員会において厳正に審査し、結果を電子メールで通知します。選考委員会から申請書や旅程等の変更を指示された場合は、速やかに修正した研究計画書を提出して下さい。

エクスペローラープログラムのウェブページ

https://jisedai.asafas.kyoto-u.ac.jp/program/p_cat/explorer/

6. 実施上の注意

新型コロナウイルス感染対策として、出張中の移動経路や訪問先、調査で接触した相手の氏名と連絡先等の記録をとるようにして下さい。

7. 採択後の提出書類

(1) 出発前の提出書類

詳しくは採択後に各専攻から連絡します。

(2) 報告書の提出

計画した出張をすべて完了した日から 2 週間以内に報告書を提出する必要があります。報告書は 2 種類あり、単位申請のための報告書（教務掛に提出）とウェブページに掲載するための報告書です。報告書に関しても採択後に連絡します。

8. 採択後の計画変更について

申請が採択された後に調査日程等の変更を希望する場合は、必ず事前に指導教員、専攻

事務室および支援室に相談して下さい。調査目的の変更など、調査内容が大幅に変更される場合は採択を取り消す場合があります。

9. その他注意事項

- (1) 申請書の提出にあたっては、必ず指導教員とよく相談して下さい。
- (2) 研究以外の目的の旅行と組み合わせることはできません。
- (3) 本プログラムに関する問い合わせは、電子メールで支援室宛てに送信して下さい。

支援室メールアドレス ⇒ shien@asafas.kyoto-u.ac.jp



川端キャンパス内アジア・アフリカ地域研究研究科・東南アジア地域研究研究所共同棟 1階 **支援室の場所が変わりました。ご注意ください。**